

人生クライマー
山野井泰史と垂直の世界 完全版

彼は何故、生きて還り続けられたのか？

篠原さん、宇佐美さん、石坂さん、野田君、今井君、一村君。
ドキュメンタリー映画が完成したようです。
幸か不幸か、これで僕は少し有名人になつてしまっていますが…。
皆さんの顔を思い浮かべながら、
これからも魅力的な山や岩壁を探し、
派手ではなくても自分の中の最高のクライミングを
求めていきたいと思っています。
47年前「山」に出会えて本当に良かったなど、
映画を見てしみじみと感じています。

山野井泰史

僕自身山好きで、クライマーは憧れの存在。
なかでも山野井さんは、混じり気のない眩しい存在で、
その純度の高い生き方には美しさを感じます。
日本が誇る、知つてもらいたい日本人の一人です。
今回、初めて「語り」という形で
ドキュメンタリー映画に参加しました。
本編中にはヒマラヤで行方不明になつた知人の姿も映っていて、
言葉に詰まってしまう瞬間もありました。
極限に挑むクライマーの「魂の震え」を感じ、
勇気もらえるドキュメンタリーです。
是非、ご期待ください。

岡田准一 (俳優)

極限の人。

登山界のアカデミー賞《ピオレドール2021生涯功労賞》受賞
世界的クライマーの足跡を、未公開ソロ登攀映像とともに振り返る《渾身》のドキュメンタリー

人生クライマー 山野井泰史と垂直の世界 完全版

語り：岡田准一 監督：武石浩明

撮影：斎藤安明 小島基史 土肥治朗 編集：金野雅也 MA：深澤慎也 音楽：津崎栄作
企画・エグゼクティブプロデューサー：大久保竜 チーフプロデューサー：松原由昌 プロデューサー：津村有紀
TBS DOCS事務局：富岡裕一 協力プロデューサー：石山成人 塩沢葉子
製作：TBSテレビ 配給：KADOKAWA 宣伝：KICCORIT
2022年 / 日本 / 109分 / 5.1ch / 16:9 ©TBSテレビ

jinsei-climber.jp @jinsei_climber jinsei_climber

TBS DOCS DOCUMENTARY FILM

A LIFE OF CLIMBER



11.25 [金] 公開

ムビチケカード発売中 ¥1,500(税込)
※一部劇場を除く ※販売は11/24(木)まで

「CHRONICLE クロニクル 山野井泰史 全記録」
(山と溪谷社) 発売中!



「アルパインクライマー -単独登攀者- 山野井泰史の軌跡-」
ビッグコミック連載中!



ビックカメラ上(読売会館8F)
JR有楽町駅 国際フォーラム出口前
角川シネマ有楽町
03(6268)0015 kadokawa-cinema.jp

明治通り沿い
地下鉄B1出口正面コチビル8F
〒〒100-0001
ヒューマントラストシネマ渋谷
03(5468)5551 ttcg.jp



山野井泰史 主な登攀記録

YASUSHI YAMANOI CLIMBING RECORDS

- 1965 東京に生まれる
- 1980 日本登攀クラブに入会
- 1987 ヨセミテ エル・キャピタン「レーキングフィア」 ● 単独第三登
アルプスドリユ (3733m) 西壁「フレンチディレティシマ」 ● 単独初登
- 1988 カナダ北極圏バフィン島トール西壁 ● 単独初登
- 1990 ハタゴニア フィッツ・ロイ ● 冬季単独初登
- 1992 ネパール アマ・ダブラム (6812m) 西壁新ルート ● 冬季単独初登
- 1994 チベット チョー・オユー (8201m) 南西壁新ルート ● 単独初登
- 1995 パキスタン ブブリモティン (6000m) 南西壁 ● 初登
- 1996 ネパール マカルー (8463m) 西壁 単独、敗退
- 1998 ネパール クスム・カンガル (6367m) 東壁 ● 単独初登
- 2000 パキスタン K2 (8611m) 南南東リブ ● 単独初登
- 2001 パキスタン ヒヤヒラヒタワ (5900m) 南壁 ● 初登
文部科学大臣スポーツ功労賞 受賞
- 2002 チベット ギャチュン・カン (7952m) 北壁 ● 第二登
朝日スポーツ賞、植村直己冒険賞 受賞
- 2005 中国四川省 ポタラ (5428m) 北壁 ● 単独初登
- 2007 グリーンランド オルカ ● 初登
- 2013 ヘルー ブスカントゥルバ東峰 (5410m) 南東壁 ● 初登
- 2017 インドヒマラヤ ルーチョ (6000m) 東壁 ● 初登
- 2021 ヒョレドール生涯功労賞 受賞



1996年、ヒマラヤ・マカルー西壁。かつて、世界最難関の巨壁に、たった一人で挑んだ若者がいた。伝説のクライマーの足跡を、貴重な未公開ソロ登攀映像とともに振り返る。《渾身》のドキュメンタリー。

その人の名は、山野井泰史。2021年、登山界最高の栄誉といわれる、「ヒョレドール生涯功労賞」をアジア人として初受賞。ラインホルト・メスナーやヴォイテク・クルティカなどと並んでクライミングの歴史にその名を刻むこととなった登山家だ。本作は、世界の巨壁に《単独・無酸素・未踏ルート》で挑み続けた彼の足跡を、貴重な未公開ソロ登攀映像や生涯のパートナーである妻・妙子への取材、関係者の証言などとともに振り返る《渾身》のドキュメンタリー。

はじまりは1996年、ヒマラヤ最後の課題といわれる「マカルー西壁」に単独で挑むという《究極の挑戦》への密着取材。その後、山野井をめぐっては、2002年に沢木耕太郎の著作「凍」でも描かれたギャチュン・カン登頂後の壮絶なサバイバルがあり、凍傷で手足の指10本を失うことになった。2008年には奥多摩山中で熊に襲われ重傷を負うアクシデントにも遭った。それでもなお「垂直の世界」に魅せられ、挑戦し続ける登山家の魂にカメラは迫る。山野井はなぜ登るのか？ 死と隣り合わせの標高8000m超で彼が見たものは？ そして、彼はなぜ、生きて還り続けることができたのか？

ナレーションは、今回初めて「語り手」としてドキュメンタリー映画に参加する岡田准一。監督は自らもヒマラヤ登山経験のあるジャーナリスト・武石浩明。長期に渡る取材を通して《極限の人》の実像に迫る、唯一無二の作品を作り上げた。

TBS DOCS

DOCUMENTARY FILMS
「DOCS」とは、「DOCUMENTARY FILMS」の略称
(海外ではドキュメンタリー作品を「ドックス」と呼ぶ)

2021年11月、TBSは国内を、世界を震わせるドキュメンタリー作品を展開するにあたり、新ブランド「TBS DOCS」を立ち上げた。ニュースには「続き」がある。「TBS DOCS」は、歴史的な事件や今起きている出来事、市井の人々の日常を追い続け、テレビでは伝えきれない真実や声なき心の声を、記者たちの熱い想いと共にドキュメンタリー映画として世の中に発信し続ける。本作品も新たに加わった「TBS DOCS」の今後の展開にご期待ください。

